

プログラム

口頭発表

21日(土)	A会場		B会場		21日(土)	C会場		D会場	
	座長	発表者・タイトル	座長	発表者・タイトル		座長	発表者・タイトル	フォーラム企画	
9時30分	内藤直樹	A-01 石山 俊 総合地球環境学研究所 サハラ南縁半乾燥地の穀物農業と家畜-ブルキナ・ファノ 北東部穀物農耕民グルマンチエの事例から-	湖中真哉	B-01 鈴木 英明 東洋文庫 19世紀インド洋西海域における綿製品流通-特にザンギバル 市場の事例-	9時30分	大林稔	C-01 今中 亮介 京都大学大学院 民主化後マリア農村部における青少年組織の動態	フォーラム1:野生動物と地域社会 (企画・司会 岩井雪乃)9時30分~10時45分	
9時45分		A-02 波佐間 逸博 長崎大学 歌詞化された日常生活-北東ウガンダ・東ナイロート系牧 畜民カリモジョンにおける牧歌の意味世界-		B-02 Jean-Claude, Maswana JICA-Research Institute Emerging Patterns in China-Africa's Trade	9時45分		C-02 梅津 綾子 名古屋大学大学院 生みの親に支えられる「里親」-北部ナイジェリアの「里親養育・ 養子縁組」(リコ)を事例に-	1.目黒紀夫(東京大学大学院) ケニアの農耕化するマサイ社会が直面する野生動物 との「共存」2.岩井雪乃(早稲田大学) 観光開発は地域社会に保全の利益を還 元できるのか? 3.安田章人(東京大学) サハラ以南のアフリカ諸 国におけるスポーツハンティングと住民参加型保全 (福島大学) 4.西崎伸子 エ チオピアの地方分権化にともなう野生動物保全と住民の対応	
10時00分	山越言	A-03 飯田 恵理子ほか 京都大学 岩場に棲む不思議な動物-タンザニアのミオンボ林にお けるハイラックスの環境利用を探る-	児玉谷史朗	B-03 澤村 信英ほか 大阪大学大学院 ケニアの困難な状況にある子どもと学校のかかわり-児 童労働と伝統慣習に向き合う生徒の語りから-	10時00分	栗本英世	C-03 船田クラークセンさやか 東京外国語大学 「16年後」のモザンビークとルワンダー比較と関係性の視点か ら-		
10時15分		A-04 田代 靖子 林原生物化学研究所 ウガンダ・カリンズ森林におけるロエストモンキー (<i>Cercopithecus lhoesti</i>)の群れ間関係		B-04 溝辺 泰雄 明治大学 第二次世界大戦期の英領黄金海岸に拘留された「日本 人」抑留者に関する予備的報告	10時15分		C-04 キャンセル		
10時30分	荒木茂	A-05 足達太郎ほか 東京農業大学ほか 西アフリカにおける長距離移動性害虫の生態と管理-1. 長距離移動性害虫の繁殖生態と気象との関係-	末原達郎	B-05 森川 純 酪農学園大学 日本のアフリカ外交50年、その評価と提言	10時30分	藤本武	C-05 米川 正子 宇都宮大学 ルワンダ現政権(RPF)による人権侵害-なぜ不処罰が続くのか-		
10時45分		A-06 中村 傑ほか 東京農業大学ほか 西アフリカにおける長距離移動性害虫の生態と管理-2. ササ ゲ害虫の発生密度におよぼす昆虫病原ウイルスと同伴作物混		B-06 青木 澄夫 中部大学 フィールド・ワークが大学生を育てる	10時45分		C-06 岩崎 健幸 東京大学大学院 虐殺犯罪者はウシをもらってはいけないのか-ルワンダ「一家にウシ -頭」政策の「受益者」をめぐる国家と地域住民の対応から-	フォーラム2:「アフリカにおけるメディアの急速普及」 (企画・司会 羽瀧一代)10時45分~12時00分	
11時00分	水野一晴	A-07 水野 一晴 京都大学 ギニア南部、ニンバ山周辺域におけるキュラス(鉄盤層) の形成と植生の分布	池野旬	B-07 八塚 春名 京都大学 タンザニアのサンダウエ社会における農地の展開と社会 関係の変化	11時00分	亀井伸孝	C-07 西浦 昭雄 創価大学 ウガンダのビール産業と大麦農家	1.松浦 直毅(京都大学大学院) 狩猟採集民のケータイ利用-ガボンにおけるデジタル ・メディアの普及とバボンゴ・ビグミーの社会変容- 2.内藤直樹(国立民族学博物館) ケータイでカネを送る -ケニアにお けるソマリ系長期化難民と地域住民の社会- 経済的関係- 3.手代木功基(京都大学大 学) ナミビアにおける携 帯電話の普及と地方における利用 -ダマラの家畜売買を 事例に-	
11時15分		A-08 大山 修一 京都大学 ニジェールの首都ニアメの生ゴミに含まれる栄養分と重金 属-砂漠化防止対策としての都市ゴミ施用をめぐる安全		B-08 原子 壮太 京都大学大学院 タンザニア南部・大地帯における竹林拡大と焼畑のか かわり	11時15分		C-08 稲泉 博己 東京農業大学 カメルーンにおけるキャッサバ加工の現状と課題		
11時30分	水野一晴	A-09 上田 元 東北大学大学院 西ケニアの農林漁村における資源の利用と管理	池野旬	B-09 小野 悠 東京大学大学院 インフォーマル居住地における土地配分システムの変容 と実態-ザンビア、ルサカを事例に-	11時30分	亀井伸孝	C-09 伊藤 紀子 東京大学 現代アフリカ農村における脱農民化・生計多様化と開発-社会 ネットワークの意義		
11時45分		A-10 桂田 祐介ほか 名古屋大学 ケニア西部における家畜の放牧と浸食との関係		B-10 坂田 有弥 大阪大学大学院 南アフリカの土地改革とその市場への影響-リンボボ州 アフリカ人独立農家の農産物市場獲得の方法-	11時45分		C-10 池野 旬 京都大学大学院 北部タンザニア都市近郊集落における生計戦略の転換		
12時00分	昼食・評議委員会				12時00分	昼食・評議委員会			
13時00分	総会				13時00分	総会			
14時00分	水野一晴	A-11 門村 浩 東京立大学 地球変動の中のアフリカ-2009/10-2010/11年シーズン 異常気候イベント-	池野旬	B-11 石本 雄大 総合地球環境研究所 携帯電話を介した相互扶助に関する試論-ザンビア南部 州の事例をもとに-	14時00分	亀井伸孝	C-11 黒須 仁美 元大阪大学大学院 都市を流浪する人びと-ケーブタウン貧困層のネットワークの切断と 再生-	フォーラム3:「21世紀アフリカにお ける新国家の挑戦」 (司会 船田クラークセンさやか、企画 モハメド・アブディ ン)14時00分~14時45分	
14時15分		A-12 林 玲子 セネガル共和国保健予防省大臣官房技術顧問 ダカールにおける都市洪水の推移と対策		B-12 坂井 真紀子 日本アフリカ学会 都市化する農牧社会とマイクロクレジット-タンザニア・ドド マ市近郊村の事例から-	14時15分		C-12 戸田 美佳子 京都大学 都市化をめぐる排除と生活戦略-カメルーン首都ヤウンデに集まる障 害者とおして-	1.栗本英世(大阪大学) 「独立前夜」の南部スーダン-課題と展望- 2.モハメド・アブディン(東京外国語大学大学院) 南部独立後スーダンはどこにむかうのか? -国家と宗教問題をめぐる議論の変容-	
14時30分	水野一晴	A-13 宮崎 英寿ほか 総合地球環境研究所ほか ザンビア南部における小規模農民の降雨変動リスクへの 対処行動	池野旬	B-13 神代 ちひろ 京都大学大学院 ブルキナファノ農村における女性の住民組織活動と生活 の実践	14時30分	亀井伸孝	C-13 玉井 隆 東京大学大学院 路上生活の「安定」のためのリーダー-カメルーン・ヤウンデ市 を事例として-	3.遠藤真(東京大学大学院) ソマリランド -未(非)承認 国家における民主主義実践の現状と課題-	
14時45分		A-14 藤本 武 富山大学 アフリカ山地農耕民の集落放棄-エチオピア西南部マロ の事例-		B-14 荒木 美奈子 お茶の水女子大学 地域開発実践におけるキャバシディアの蓄積・内化と発現 形態-タンザニアを事例として-	14時45分		C-14 キャンセル		
15時00分	ポスター発表コアタイム(1)				15時00分	ポスター発表コアタイム(1)			

16時00分	シンポジウム「もし眠り病の特効薬ができたら―病気への学際的アプローチ―」	16時00分	シンポジウム「もし眠り病の特効薬ができたら―病気への学際的アプローチ―」
18時30分	懇親会	18時30分	懇親会

22日(日)	A会場	B会場	22日(日)	C会場	D会場
9時30分	荒木美奈子 A-15 森口 岳 一橋大学大学院 「開発」という名のカーゴ・カルト、あるいは欲望の政治学―ウガンダ共和国ムセベニ政権下の新自由主義政策における「開発援助」文化への	田川玄 B-15 村尾 るみこ 東京外国語大学 ザンビア西部におけるアンゴラ移民の「帰還」と「定着」	9時30分	若狭基道 C-15 梶 茂樹 京都大学 ウガンダ・ホイマ市の言語使用状況―社会言語学的アンケート調査から―	
9時45分	荒木美奈子 A-16 關野 伸之 京都大学 百鬼 9 環境NGOの権力性―セネガルの海洋保護区の事例から―	田川玄 B-16 川口 博子 京都大学大学院 死に對する「くはない」―ソマリランドのアフリカ社会における賠償の文	9時45分	若狭基道 C-16 フィリップス、ジョン・エドワード 弘前大学 植民地時代前のアフリカにおける文字	
10時00分	佐藤章 A-17 小泉 真理 清泉女学院大学 ジュリアス・ニエレレと英国留学―政治哲学形成の軌跡―	富永智津子 B-17 竹村 景子 大阪大学 スワヒリ女性の声を聞く―「結婚」を通して見るスワヒリ社会の実情(1)―ザンジバル島チャニニ村およびベンバ島ウエテ市の事	10時00分	津田みわ C-17 戸田 真紀子 京都女子大学 植民地化が生んだ「忘れ去られた地域」―北部辺境地域と独立後の虐殺―	
10時15分	佐藤章 A-18 中尾 沙季子 東京大学大学院 セネガル独立期におけるサンゴールの政治思想	富永智津子 B-18 宮崎 久美子 東京外国語大学 スワヒリ女性の声を聞く―「結婚」を通して見るスワヒリ社会の実情(2)―ザンジバル島ジャンバニニ村の事例から―	10時15分	津田みわ C-18 武内 進一 JICA研究所 政治制度と紛争予防―ルワンダとブルンジ―	
10時30分	遠藤貢 A-19 原口 武彦 アフリカ日本協議会 コートジボワールの2010年大統領選挙	富永智津子 B-19 井戸根 綾子 大阪大学 スワヒリ女性の声を聞く―「結婚」を通して見るスワヒリ社会の実情(3)―ケニア、ラム島の事例から―	10時30分	津田みわ C-19 徳光 祐二郎 広島大学大学院 平和構築における小型武器回収と「心理的影響」―シェラレオネの「武器と開発との交換」(Arms for Development)を事例として―	フォーラム4:「アフリカ「農地林」からみた人と自然の関係」 (司会 池谷和信、企画 平井將公)10時30分～12時00分
10時45分	遠藤貢 A-20 網中 昭世 東京外国語大学 脱植民地化の今日的過程としての国民形成―「植民地責任」に関する「不問」と「モザンビーク人であること」という内発的問い―	大山修一 B-20 甲斐田 きよみ 名古屋大学大学院 ナイジェリア北部における女性の生計戦略	10時45分	津田みわ C-20 岡野 英之 大阪大学大学院 再編される武力紛争―リベリア民主和解連合(LURD)にみられる脱国境的「パロネージ」	1.平井將公(京都大学) セネガルのセレーン社会におけるサース(Faidherbia albida)の利用技術―資源量の不足にともなう枝葉の切り方の変化― 2.山越香(京都大学大学院) 西アフリカ森林地域の焼畑農耕と
11時00分	森山工 A-21 戸川 翔太郎 東京大学大学院 「市民社会」の幻想―南アフリカ共和国ケープタウンを事例として―	大山修一 B-21 伊藤 千尋ほか 総合地球環境学研究所ほか 社会ネットワーク分析を応用した労働移動の意志決定プロセスの検討―ザンビア南部州農村を事例に―	11時00分	半澤和夫 C-21 牛久 晴香 京都大学大学院 ガーナ北東部におけるボルガ・バスケット「産業」の展開	3.友松夕香(東京大学) チーフの木―パークア(Parkia biglobosa)の所有と利用からみえるダゴンバ農村社会のありかた― 4.山本佳奈(京都大学大学院) イブラ(Parinari curatellifolia)はなぜ残されるのか?―ミオンボ林帯における樹木の価値の変遷についての考察、食糧確保と祖霊信仰の観点から― 5.藤岡悠一郎(京都大学大学院) ナミビア北中部オヴァンボ社会における農地林の成立要因とその変遷―世帯の生業戦略と農地林の動態―
11時15分	森山工 A-22 中村 亮 総合地球環境学研究所 スワヒリ海岸キルワ島のジニ(精霊)信仰	大山修一 B-22 伊東 未来 大阪大学大学院 「御中氏」の村落への学即力動―マリタ共和国エンゴヤ戦争	11時15分	半澤和夫 C-22 穴戸 竜司 神戸大学大学院 イネとウシと―ザンビア西部州カラボ郡での稲作拡大を追う―	
11時30分	森山工 A-23 宮田 寛章 京都大学大学院 トーゴ、カリスマ派キリスト教における悪霊と聖霊	大山修一 B-23 溝内 克之 京都大学大学院 近畿大学 「街のようなkama mjini」村―キリマンジャロ山間部村落における土地不足と非農業活動の展開―	11時30分	半澤和夫 C-23 若月 利之 近畿大学 パーソナル灌漑水田開発方式<sawahエコテクノロジー方式>によるアフリカ稲作振興アクションリサーチ	
11時45分	森山工 A-24 荒木 圭子 東海大学 南アフリカにおけるアフリカ正教会	大山修一 B-24 稲井 啓之 京都大学大学院 チャド盆地における河川漁民の出稼ぎ漁のメカニズム―河川漁民ムズグンによる遠隔地出漁先の開拓と定着の動態の分析か	11時45分	半澤和夫 C-24 荒木 茂 京都大学 カメルーン東南部におけるJST/JICAプロジェクトの概要と勝算	
12時00分	昼食		12時00分	昼食	
13時00分	ポスター発表コアタイム(2)		13時00分	ポスター発表コアタイム(2)	
14時00分	小泉真理 A-25 飛内 悠子 上智大学大学院 ハルツーム在住クク人とキリスト教―エスニック・コミュニティと聖公会との相互作用―	神谷保彦 B-25 浜田 明範 日本学術振興会/一橋大学 ヘルスセンターに行けること―ガーナ南部における健康保険と生物医療へのアクセス―	14時00分	坂井真紀子 C-25 五野 日路子 東京農業大学大学院 マラウイにおける投入財補助金政策の現状―マラウイ北部地域の事例から―	
14時15分	小泉真理 A-26 キャンセル	神谷保彦 B-26 藤田 和佳子ほか 大阪大学大学院ほか 『アフリカ母子保健看護管理コース』フォローアップ研修の効果的なあり方の検討―ザンビア・ルサカでの事例から―	14時15分	坂井真紀子 C-26 米満 彩ほか 筑波大学大学院 貧困地域におけるブリケット燃料利用の意志決定要因分析―ケニア、キベラスラムを事例として―	
14時30分	佐藤千鶴子 A-27 阿部 利洋 大谷大学 南アフリカにおけるコミュニティ・ポリシングの展開と課題	佐藤弘明 B-27 野口 真理子 京都大学大学院 エチオピア西南部における高齢者をとりまくケア関係	14時30分	坂井真紀子 C-27 半澤 和夫 日本大学 ザンビアC村における食糧確保と小規模灌漑農業	
14時45分	佐藤千鶴子 A-28 牧野 久美子 ジェトロ・アジア経済研究所 南アフリカの政治的移行と日本の市民社会―反アパルトヘイト運動からポスト・アパルトヘイト社会開発支援へ―	佐藤弘明 B-28 神谷 保彦 長崎大学大学院 アフリカ保健援助における断片化、アテンションエコノミー	14時45分	太田卒 C-28 飯田 卓 国立民族学博物館 マダガスカル森林部の木材利用―カヌー材と建材の供給にまつわる問題―	
15時00分	佐藤千鶴子 A-29 上窪 一史 工学院大学 ブラック・サッシュは「白人」「女性」「中産階級」組織か?―メンバーシップをめぐる考察から―	佐藤弘明 B-29 齊藤 龍一郎 特活アフリカ日本協議会 アフリカにおけるHIV陽性者運動のインパクト	15時00分	太田卒 C-29 丸山 淳子 津田塾大学 南部アフリカにおけるサン先の先住民運動の展開に関する比較研究	
15時15分	松 A-30 亀井 伸孝 愛知県立大学 「危険な研究」?―少数言語調査の政治と言語政策	太田卒 B-30 浅野 英一 摂南大学 アフリカ入道給技術有への技術研修による技術移転の限界と可能性	15時15分	太田卒 C-30 早坂 麗子 京都大学大学院 「ボロロ」をめぐるエスニシティに関する人類学的研究	

15時45分	田 凡	A-31 大石高典ほか 京都大学ほか 熱帯森林居住民はどのように森林植生の多様性を認識しているか？ カメルーン東南部の狩猟採集民バカ・ビグミーと焼畑農耕民パウウエレ の通文化比較から	15時45分	+	C-31 キャンセル
--------	--------	---	--------	---	-------------------

ポスター発表

- P-1 仲谷ア南部コンソ産ウマ科化石による前期更新世の古環境復元
- P-2 伊藤 テンバンジーが集まる時
- P-3 中島山塊国立公園における野生テンバンジーの高さ利用と行動との関係
- P-4 石川ア布教年報に関する一考察 — プラガ地方文書館MS779の史的意義を中心に—
- P-5 川田フリカ人の健康からみえる社会 —無料健康相談とエイズ啓発の取り組みから—
- P-6 姜 ける緩和医療と看取りのケア —都市部ホスピスと農村における事例から—
- P-7 荻野東部に暮らすビグミー系狩猟採集民の子どもの思春期サポートと栄養状態
- P-8 鈴木中南部サヘル地域における牧畜民フラニの生業に関する予備調査報告
- P-9 桐地域におけるFaidherbia albidaのフェノロジーと農耕民ハウサの樹木利用に関する予備調査
- P-10 Sejivariety Perception and Selection Criteria in Kitui, Eastern Province of Kenya
- P-11 小淵イ南部ブンブエ地域3村における食料生産と食物摂取の現状について

|